

14時30分解禁

令和2年5月 全国百貨店売上高概況

令和2年6月23日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 515億円余
2. 前年同月比	-65.6% (店舗数調整後/8か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	73社 203店 (令和2年4月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,231,103㎡ (前年同月比:-2.9%)
5. 総従業員数	61,669人 (前年同月比:-7.2%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	10-12月 -8.8%、11-1月 -4.7%、12-2月 -6.3%、 1-3月 -16.8%、2-4月 -39.7%、3-5月 -56.1%

[参考] 令和元年5月の売上高増減率は-0.8% (店舗数調整後)

【特徴】

5月は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の下、全国の会員店が営業自粛を余儀なくされたが、月の後半からは宣言の段階的解除を受けて、順次各店の営業再開が進んだ。これにより、月初から中旬まで前年を大幅に下回っていた売上高減少率も、最終的には過去最大を記録した前月(72.8%減)から若干(7.2ポイント)持ち直す結果となった。

地区別では、地方(10都市以外の地区)が56.8%減、営業自粛の影響が大きい大都市(10都市)は69.0%減と、その差は前月より0.4ポイント拡大し12.2ポイントとなった。

インバウンドは、入国規制や臨時休業による免税カウンター閉鎖等を背景に、売上高97.5%減(7.7億円/4か月連続/シェア0.5%)、購買客数99.3%減(4か月連続)と、依然厳しい状況が続いている。一方、国内市場は63.2%減(8か月連続/シェア99.5%)と7.4ポイント改善した。

商品別では、外出自粛で巣ごもり消費の傾向が強まり、食料品(45.2%減)やライフスタイル関連(家庭用品:54.9%減)が相応に健闘し、生鮮三品や惣菜、和洋酒、生菓子、寝具、キッチン・リビング用品、家電などが動いた。また、衣料品(74.1%減)や身のまわり品(74.5%減)等のファッション商材では、羽織物、ブラウス、カットソー、パラソル、帽子などに動きが見られた。更に春のお祝いニーズからギフト関連も堅調だった。その他、増勢が続くネット通販等非店頭売上は好調で、業績を下支えしている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇南からの暖かい空気に覆われやすかったため、全国的に気温が高く、北・東・西日本でかなり高かった。降水量は、東日本日本海側でかなり少なく、北・東日本太平洋側で少なかった。また、日照時間は東日本太平洋側で多かった。

(2) 営業日数増減 26.0日(前年同月比 -4.8日)

(3) 土・日・祝日の合計 13日(" +1日/土曜・日曜各1日増、国民の休日1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数114店舗)

①増加した:7店、②変化なし:3店、③減少した:104店

(5) 5月歳時記(GW、母の日)の売上(同上/有効回答数83店舗)

①増加した:6店、②変化なし:6店、③減少した:71店

全国百貨店 売上高速報 2020年5月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	151,542,481	100.0	-65.6 (-65.9)
10都市	97,893,396	64.6	-69.0 (-69.0)
札幌	2,016,463	1.3	-83.4
仙台	2,973,053	2.0	-45.6
東京	34,795,254	23.0	-71.6 (-71.7)
横浜	9,515,716	6.3	-64.9
名古屋	9,841,054	6.5	-64.7
京都	5,277,543	3.5	-71.1
大阪	21,264,623	14.0	-68.0
神戸	3,626,850	2.4	-63.8 (-65.9)
広島	3,328,590	2.2	-62.6
福岡	5,254,250	3.5	-68.2
10都市以外の地区	53,649,085	35.4	-56.8 (-58.1)
北海道	400,309	0.3	-58.1
東北	3,227,882	2.1	-39.4 (-48.5)
関東	19,444,225	12.8	-63.8 (-65.9)
中部	3,855,317	2.5	-60.3 (-62.3)
近畿	9,374,641	6.2	-47.2 (-46.2)
中国	4,868,059	3.2	-48.9
四国	2,753,726	1.8	-60.7
九州	9,724,926	6.4	-50.8

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	151,542,481	100.0	-65.6 (-65.9)
紳士服・洋品	7,426,751	4.9	-74.6 (-74.8)
婦人服・洋品	19,185,505	12.7	-77.5 (-77.8)
子供服・洋品	5,187,161	3.4	-51.3 (-52.6)
その他衣料品	2,924,849	1.9	-66.9 (-67.5)
衣 料 品	34,724,266	22.9	-74.1 (-74.4)
身のまわり品	15,463,963	10.2	-74.5 (-74.8)
化粧品	12,643,150	8.3	-73.8 (-74.0)
美術・宝飾・貴金属	5,950,242	3.9	-80.0 (-80.2)
その他雑貨	5,835,646	3.9	-59.9 (-61.6)
雑 貨	24,429,038	16.1	-73.6 (-73.9)
家 具	2,323,907	1.5	-51.0 (-51.7)
家 電	943,270	0.6	-21.3 (-21.4)
その他家庭用品	4,821,146	3.2	-59.8 (-60.4)
家 庭 用 品	8,088,323	5.3	-54.9 (-55.6)
生 鮮 食 品	15,779,136	10.4	-23.7 (-25.1)
菓 子	11,932,048	7.9	-58.0 (-58.2)
惣 菜	14,091,260	9.3	-46.3 (-46.8)
その他食料品	16,780,212	11.1	-46.9 (-48.3)
食 料 品	58,582,656	38.7	-45.2 (-46.0)
食 堂 喫 茶	1,620,414	1.1	-86.6 (-86.9)
サ ー ビ ス	1,583,959	1.0	-67.4 (-68.0)
そ の 他	7,049,862	4.7	-27.9 (-23.0)
商 品 券	4,070,354	2.7	-51.2 (-51.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -69.0% (店舗数調整後／8か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -56.8% (店舗数調整後／8か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-69.0	-49.6	8か月連続マイナス
札幌	-83.4	-2.3	4か月連続マイナス
仙台	-45.6	-0.6	3か月連続マイナス
東京	-71.6	-20.2	8か月連続マイナス
横浜	-64.9	-4.0	8か月連続マイナス
名古屋	-64.7	-4.1	8か月連続マイナス
京都	-71.1	-3.0	8か月連続マイナス
大阪	-68.0	-10.4	8か月連続マイナス
神戸	-63.8	-1.1	8か月連続マイナス
広島	-62.6	-1.3	4か月連続マイナス
福岡	-68.2	-2.6	8か月連続マイナス
10都市以外の地区	-56.8	-15.9	8か月連続マイナス
北海道	-58.1	-0.1	4か月連続マイナス*
東北	-39.4	-0.5	4か月連続マイナス*
関東	-63.8	-7.9	8か月連続マイナス
中部	-60.3	-1.3	8か月連続マイナス
近畿	-47.2	-1.7	8か月連続マイナス
中国	-48.9	-1.1	8か月連続マイナス*
四国	-60.7	-1.0	8か月連続マイナス
九州	-50.8	-2.3	8か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、8か月連続で全品目がマイナスとなった。また、その他の品目も4か月連続で全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-65.6	—	8か月連続マイナス
紳士服・洋品	-74.6	-5.0	8か月連続マイナス
婦人服・洋品	-77.5	-15.1	8か月連続マイナス
子供服・洋品	-51.3	-1.2	8か月連続マイナス
その他衣料品	-66.9	-1.4	8か月連続マイナス
衣料品	-74.1	-22.7	8か月連続マイナス
身のまわり品	-74.5	-10.3	8か月連続マイナス
化粧品	-73.8	-8.1	4か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-80.0	-5.4	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-59.9	-2.0	8か月連続マイナス*
雑貨	-73.6	-15.6	8か月連続マイナス
家具	-51.0	-0.6	8か月連続マイナス
家電	-21.3	-0.1	4か月連続マイナス
その他家庭用品	-59.8	-1.6	8か月連続マイナス
家庭用品	-54.9	-2.3	8か月連続マイナス
生鮮食品	-23.7	-1.1	19か月連続マイナス*
菓子	-58.0	-3.7	4か月連続マイナス*
惣菜	-46.3	-2.8	8か月連続マイナス*
その他食料品	-46.9	-3.4	8か月連続マイナス*
食料品	-45.2	-11.0	8か月連続マイナス
食堂喫茶	-86.6	-2.4	8か月連続マイナス
サービス	-67.4	-0.8	3か月連続マイナス
その他	-27.9	-0.6	3か月連続マイナス
商品券	-51.2	-1.0	111か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

令和2年5月 東京地区百貨店売上高概況

令和2年6月23日

I. 概 況

1. 売上高総額	347億円余
2. 前年同月比	-71.6% (店舗数調整後/8か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-79.7%(64.9%) : 非店頭11.5%(35.1%) () 内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 25店 (令和2年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	824,526㎡ (前年同月比:-1.3%)
6. 総従業員数	16,488人 (前年同月比:-4.9%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	10-12月 -8.1%、11-1月 -3.5%、12-2月 -5.6%、 1-3月 -17.2%、2-4月 -41.6%、3-5月 -59.6%

[参考] 令和元年5月の売上高増減率は-1.6%

【特 徴】

- (1) 5月の東京地区は、25日まで続いた「緊急事態宣言」の下、都内各店で臨時休業や一部フロアでの限定営業等の自粛が継続され、他地区に比べて全店での営業再開が遅れた。売上高(71.6%減/8か月連続)は前月より4.5ポイント改善したものの、営業日数が18.1日(前年同月比12.9日減)と全国平均より少なく厳しい商況となった。
- (2) 前月に続き、EC売上等の非店頭売上は11.5%増(2か月連続/シェア35.1%)と二桁の伸びを示し、営業自粛で苦戦する店頭業績を下支えした。特に食料品やコスメ、リビングアイテムなどが人気で、中旬からスタートした中元ギフトのオンライン受注も出足が好調で、ギフト需要の底堅さを見せた。
- (3) 商品別では、休業が長く続いた衣料品(83.8%減)、身のまわり品(76.3%減)、雑貨(82.6%減)が厳しい結果となった一方、食料品(50.4%減)は多くの店舗で営業を継続したことから比較的堅調に推移した。生鮮食品(28.9%減)やワイン、洋酒などの酒類が好調で、百貨店ならではの高級食材も人気だった。また、全館での営業再開以降は、化粧品のまとめ買いや、休業していた特選ブランドなどにも需要が見られた。
- (4) 6月中間段階の商況は、都内全店が全館営業を再開したことから、29.3%減(6/17)で推移しており、回復傾向はより明確になってきている。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 18.1日(前年同月比 -12.9日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した: 1店、②変化なし: 0店、③減少した: 17店
- (3) 5月歳時記(GW、母の日)の売上(同上/有効回答数15店舗)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 0店、③減少した: 13店

東京地区百貨店 売上高速報 2020年5月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	34,795,254	100.0	-71.6 (-71.7)
紳士服・洋品	1,646,798	4.7	-84.2 (-84.2)
婦人服・洋品	2,725,524	7.8	-87.1 (-87.1)
子供服・洋品	992,445	2.9	-61.2 (-61.2)
その他衣料品	478,848	1.4	-76.6 (-76.6)
衣 料 品	5,843,615	16.8	-83.8 (-83.8)
身のまわり品	4,319,749	12.4	-76.3 (-76.3)
化粧品	2,236,783	6.4	-84.5 (-84.5)
美術・宝飾・貴金属	1,209,311	3.5	-87.5 (-87.5)
その他雑貨	1,610,239	4.6	-67.4 (-67.4)
雑 貨	5,056,333	14.5	-82.6 (-82.6)
家 具	1,122,207	3.2	-28.2 (-28.2)
家 電	714,999	2.1	-18.3 (-18.3)
その他家庭用品	1,532,906	4.4	-47.7 (-47.7)
家 庭 用 品	3,370,112	9.7	-37.3 (-37.3)
生 鮮 食 品	2,812,697	8.1	-28.9 (-28.9)
菓 子	2,211,892	6.4	-69.0 (-69.0)
惣 菜	2,898,896	8.3	-53.5 (-53.5)
その他食料品	4,930,033	14.2	-42.7 (-42.7)
食 料 品	12,853,518	36.9	-50.4 (-50.4)
食 堂 喫 茶	183,637	0.5	-93.4 (-93.5)
サ ー ビ ス	780,613	2.2	-63.4 (-63.4)
そ の 他	2,387,677	6.9	-17.7 (-25.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	703,173 千円	-64.4 (-64.4)
従 業 員 数	16,488 人	-4.9
店 舗 面 積	824,526 m ²	-1.3

営 業 日 数	18.1 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、4か月連続で全品目がマイナスとなった。また、その他の品目も3か月連続で全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-71.6	—	8か月連続マイナス
紳士服・洋品	-84.2	-7.1	8か月連続マイナス
婦人服・洋品	-87.1	-15.0	8か月連続マイナス
子供服・洋品	-61.2	-1.3	8か月連続マイナス
その他衣料品	-76.6	-1.3	8か月連続マイナス
衣料品	-83.8	-24.7	8か月連続マイナス
身のまわり品	-76.3	-11.3	4か月連続マイナス
化粧品	-84.5	-10.0	8か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-87.5	-6.9	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-67.4	-2.7	8か月連続マイナス*
雑貨	-82.6	-19.6	8か月連続マイナス
家具	-28.2	-0.4	3か月連続マイナス
家電	-18.3	-0.1	4か月連続マイナス
その他家庭用品	-47.7	-1.1	8か月連続マイナス
家庭用品	-37.3	-1.6	6か月連続マイナス
生鮮食品	-28.9	-0.9	20か月連続マイナス*
菓子	-69.0	-4.0	4か月連続マイナス*
惣菜	-53.5	-2.7	4か月連続マイナス*
その他食料品	-42.7	-3.0	3か月連続マイナス*
食料品	-50.4	-10.7	4か月連続マイナス
食堂喫茶	-93.4	-2.1	8か月連続マイナス
サービス	-63.4	-1.1	8か月連続マイナス
その他	-17.7	-0.4	3か月連続マイナス
商品券	-64.4	-1.0	20か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>